

住宅用火災警報器の設置例

1 階建て



寝室部分に警報器の設置が必要です。

2 階建て



2 階建ての 1 階に寝室がある場合、寝室部分に警報器が必要です。

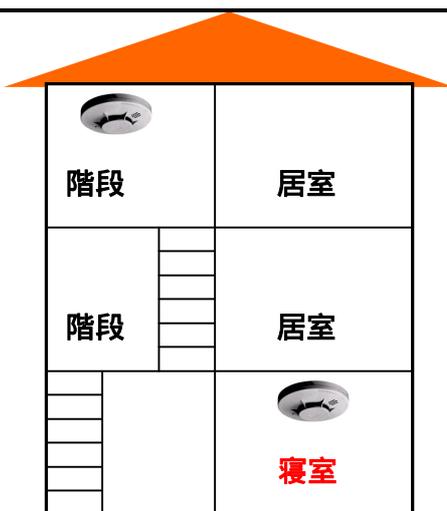


2 階建ての 2 階に寝室がある場合、寝室部分と 2 階階段室の上部に警報器が必要です。

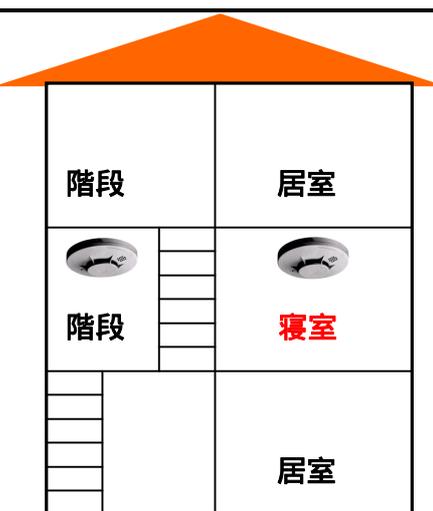


2 階建ての 1 階 2 階に寝室がある場合、各寝室部分と 2 階階段室の上部に警報器が必要です。

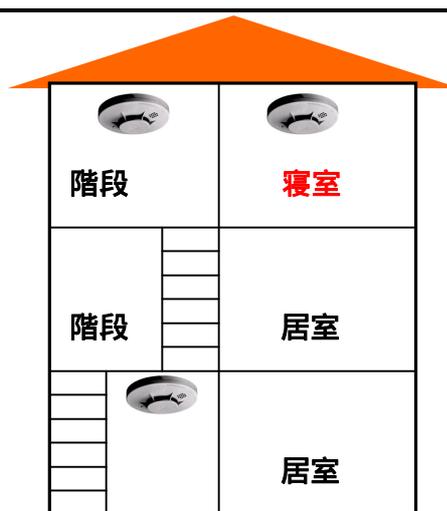
3 階建て



3 階建てで 1 階のみに寝室がある場合、寝室部分と 3 階階段室の上部に警報器が必要です。



3 階建てで 2 階のみに寝室がある場合、寝室部分と 2 階階段室の上部に警報器が必要です。



3 階建てで 3 階に寝室がある場合、寝室部分と 1 階 3 階の階段室の上部に警報器が必要です。

3階建て

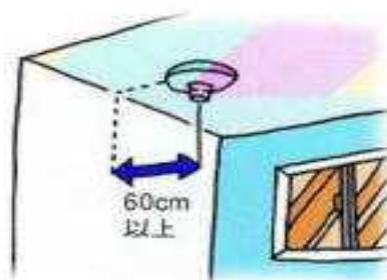
<p>3階建てで1階2階に寝室がある場合、各寝室部分と2階階段室の上部に警報器が必要です。</p>	<p>3階建てで2階3階に寝室がある場合、各寝室部分と2階3階の階段室の上部に警報器が必要です。</p>	<p>3階建てで1階3階に寝室がある場合、寝室部分と1階3階の階段室の上部に警報器が必要です。</p>

<h3>3階建て</h3>	<h3>その他</h3>
<p>3階建てで1階2階3階に寝室がある場合、各寝室部分と2階3階の階段室の上部に警報器が必要です。</p>	<p>寝室がない階でも、7平方メートル(四畳半)以上の居室が5以上ある場合には、廊下に警報器が必要です。</p>

住宅用火災警報器の取付位置

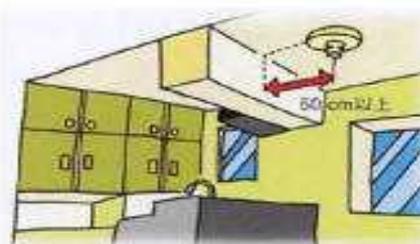
壁面からの取付位置

火災警報器の中心を、壁から60cm以上離します。



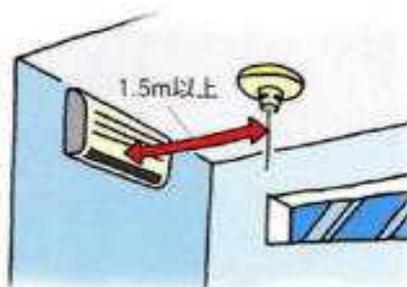
梁などがある場合の取付位置

火災警報器の中心を、梁から60cm以上離します。



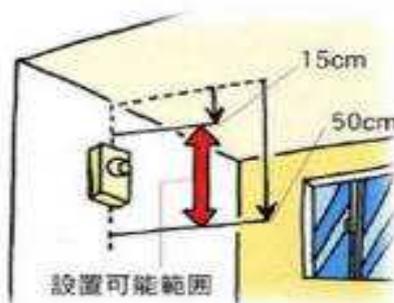
エアコンなど吹き出し口付近の取付位置

換気扇やエアコンの吹き出し口付近から、1.5m以上離します。



《壁面の場合》

天井から15～50cm以内に、火災警報器の中心がくるように取り付けます。



【問い合わせは】

岸和田市消防本部 予防課 072 426 8607 (課直通)